

北海道

北海道の景況は、輸出の拡大、観光、雇用情勢が回復しているものの、個人消費が足踏み、住宅建築が弱含むなど、**回復の動きが一服**。

個人消費は、消費税率引上げに伴う駆け込み需要の反動から、大型小売店販売が減少するなど、持ち直しの動きが鈍化。**住宅建築**は、消費税率引上げに伴う駆け込み需要の反動から、持家、分譲住宅が減少し、やや弱含む。**設備投資**は、小売業を中心に投資計画を積み増す動きがみられるなど、持ち直し基調。**公共工事**は、国、道、市町村が増加し、持ち直し基調。**輸出**は、マレーシア、サウジアラビア向けの鉄鋼、北米向けの自動車部品を中心に増加し、拡大。

生産活動は、金属製品、輸送機械が増加し、持ち直し。

- ・鉄鋼は、生産水準が低下。悪天候のため船での出荷ができず、自動車向け特殊鋼線材が減産。
- ・金属製品は、生産水準が上昇。民間建設需要からアルミ建具、鉄骨が増産。
- ・一般機械は、生産水準が上昇。化学機械が増産。
- ・電気機械は、生産水準が低下。スマートフォンに使用される無線通信装置、水晶振動子が減産。
- ・輸送機械は、生産水準が上昇。船舶が増産。自動車駆動伝導装置が減産。
- ・窯業・土石製品は、生産水準が低下。生コンクリートが減産となったものの、高水準を維持。
- ・石油・石炭は、生産水準が上昇。軽油が増産。
- ・パルプ・紙・紙製品は、生産水準が低下。板紙が減産。
- ・食料品は、生産水準が上昇。ビールが増産。

観光は、外国人客を中心に来道者数が増加し、回復。

- ・3月の来道者数は、25か月連続で前年比増加。外国人客も引続き増加。

雇用は、有効求人倍率が上昇したほか、新規求人数も増加するなど、回復の兆し。

先行きは、消費税率引上げに伴う駆け込み需要の反動により、一時的に落ち込むとみられている。

景況判断	個人消費	住宅建築	設備投資	公共工事	輸出	生産活動	観光	雇用情勢
								

(注) 景況判断の文言は、会員銀行からの報告をもとに当協会ですりまとめたもの。